トップニュース

本山・阿弥陀堂で成人式

御影堂で人生の節目迎える

成人を迎えた若者をお祝いしようと3月8日、第73回本山成人式が御影堂で営まれた。寺院や門徒の子弟など18歳から20歳までの40人が出席。親鸞聖人の御真影の御前で人生の節目の喜びを新たにした。

初めに献灯・献華・献香を行い(写真)、鎌倉心さん(岩手県花巻市・光徳寺衆徒、20)が代表焼香。重誓偈のおつとめに続き、林咲樂さん(熊本県甲佐町・皓月寺門徒、19)が「誓いの言葉」を述べ、「今日まで私たちの成長を願い、支え導いてくださった方々のご恩に心よりお礼を申しあげ、これからはめぐまれた『いのち』の尊さに気づくことのできる毎日を歩みたいと思います」と決意表明。全員で「私たちのちかい」を唱和し、浄土真宗のみ教えを指針に、社会貢献に努めることを誓った。

式典では本願寺の菅原良成副執行長が祝辞し、来賓の神田眞晃・知恩院執事が祝意を表した。続いて、元NHKディレクターで「クローズアップ現代」などの制作に携わった小国士朗さん(プロデューサー)が記念講演した。また、4人が帰敬式を受けた。

総長に園城義孝氏

総務は桑羽、竹田、松原各氏　副総務に清岡氏

園城義孝総長

桑羽隆慈総務

竹田空尊総務

松原功人総務

清岡大地副総務

第325回定期宗会が2月26日から宗務所で開かれ、新年度の宗務の基本方針案や予算案などの全議案を3月6日に可決した(次号掲載)。この後、池田行信総長が辞任。翌7日に総長選挙が行われ、園城義孝氏(長崎県南島原市・常光寺前住職、82歳)が選出された。

総長選挙は、ご門主が指名された元総長で総務の荻野昭裕氏(和歌山県海南市・浄國寺住職、69歳)と元総長で宗会議長の園城氏を候補者に行われ、出席議員75人が投票。園城氏が59票を獲得した。園城新総長は挨拶で「お念仏の声が聞こえる宗門にしていきたい」と述べた。宗会議長は下川弘暎氏(福岡県みやま市・浄弘寺住職、80歳)が選出された。

園城総長は3月10日付で新総局を発足させた。桑羽隆慈氏、竹田空尊氏、松原功人氏を総務に、清岡大地氏を副総務に指名した。

園城総長、各総務の所管・略歴、副総務の担当・略歴は次の通り。《》は関連役職。

◆園城義孝総長(宗派代表役員)＝統合企画室、社会部(社会情報)、所務部(文書、人事)《随行長などの決定に関すること》。

◆桑羽隆慈総務(宗派責任役員)＝寺院活動支援部(過疎地域対策、一般寺院、直轄寺院・直属寺院、連区・教区・組)、所務部(財務)、本願寺出版社、聞法会館《宗門総合振興計画に関すること、宗務組織機構改革推進本部に関すること、宗務組織機構改革推進本部長》。山口県美祢市・正岸寺前住職、83歳。

◆竹田空尊総務(宗派責任役員)＝社会部(人権問題、社会事業、災害対策)、僧侶養成部(得度習礼・教師教修、布教使、勤式、仏教学院・学階)、寺院活動支援部(国内伝道・寺院伝道支援、国際伝道)、所務部(法制・訟務・契約事務)、《宗門総合振興計画に関すること、真宗教団連合に関すること》。福井県坂井市・本専寺住職、72歳。

◆松原功人総務(宗派責任役員)＝浄土真宗本願寺派総合研究所、重点プロジェクト推進室、社会部(宗教教育)、門信徒教化部、寺院活動支援部(組織教化)、《子ども・若者ご縁づくり推進室《宗門総合振興計画に関すること、宗門のDXの推進に関すること》。山口県周防大島町・正覺寺前住職、74歳。

◆清岡大地副総務＝社会部(宗教教育)、門信徒教化部、僧侶養成部(得度習礼・教師教修、布教使、勤式、仏教学院・学階)、寺院活動支援部(組織教化)《子ども・若者ご縁づくり推進室》。大阪府吹田市・大光寺住職、48歳。

全国児童養護施設連絡協議会の卒園生が成人式に臨む

温かさに囲まれ「大人になる」

宇治の呉服店が着物無償で提供

浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会(＝全養本派クラブ)の卒園生13人も本山成人式に参加した。

全国の15施設が加盟する全養本派クラブは毎春、卒園する高校3年生、大学生などを対象に1泊2日の本山卒園参拝を実施しているが、今回は2日目の日程に初めて成人式参加を盛り込み、6施設から参加した13人全員が式に臨んだ。

聞法会館に宿泊した卒園生は、朝から振り袖や羽織袴の着付け。この着物一式は、京都府宇治市の呉服店「花十色」の前田清春店長の厚意によるもの。本派クラブを担当する本山・社会部職員から施設の卒園生が成人式に出ると聞いた前田店長が、「人生一度きりの節目。少しでも楽しい思い出にしてもらいたい」と無償提供を申し出た。「自分で選んだ着物というだけで喜びは増すもの。せっかくなら気に入ったものを着てもらいたい」と、ホームページに掲載するレンタル商品から希望を受け付け、着物のほか、小物、女性の髪飾り、当日の着付けなども無償で行った。

晴れ姿となった卒園生は、全員で白洲に設置された「本山成人式」の看板を囲んで記念撮影(写真)。シャッターを押すのは生活を共にしてきた施設の職員たちだ。卒園生は「ちょっと歩きにくい」などと照れ笑いを浮かべながら、キラキラとした表情で写真に収まった。

全養本派クラブ副会長の調浄信さん(佐賀県基山町・洗心寮施設長)は「目尻が下がる、そんな思いでいっぱい。こんなに艶やかで本山成人式を勧めてくれた。地元の式には出られなかったので、とても良い経験、楽しい思い出になった。帰ったら、羽織袴姿の写真をたくさん見せようと思う」、洗心寮で生活する男性(高校3年)は「本願寺は小学生の時に本派クラブで児童念仏奉仕団に参加して以来。あの時と同じ場所でお祝いしていただいて、『18歳。成人したんだな』と実感した」と話していた。

本願寺新報
hongwanji journal

3月20日(木曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501　本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代)／FAX075(341)7753

茶道 藪内家燕庵
京都市下京区西洞院正面下ル
http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

今号の紙面

京都繁華街で「いのちの日」…8

4月に200回忌法要
本願寺第19代本如上人
ご生涯とご事績……6

みんなの法話……4
学ぶ親鸞聖人　ご生涯×教え…5
お釈迦さまの前世物語……3
季節の養生と薬膳……3
本願寺インスタ倶楽部……3
読者のひろば(俳壇・歌壇)…7

赤光白光

「昭和二十年三月十二日　本日、臨時召集に依り、第一四五七部隊要員として入隊すべきを通知せられた。戦線に出で国土防衛の業務にたずさわれることは国民の本懐」。和歌山の自坊に残る祖父の「太平洋戦争 戦陣日誌」。ノート4冊が小さな字で埋まった記録は青年僧侶の勇ましい言葉で始まる。節目の年に連載「終戦80年～つ・な・ぐ」(7面参照)を始めるにあたり、改めて手に取った。

▼明治44年生まれで当時34歳。住職と兼務で国民学校(小学校)の教員をしていた。戦局が厳しさを増す中、残していく妻と5人の子、ご門徒や教え子を思うと、自ら奮起せざるを得なかったのだろう。

▼任地は中国・北京近郊の通州三河村。占拠した集落の警備隊に配属されたようだ。5月には八路軍(中国共産党軍)との交戦で「戦争の悲惨なるを初めて見」、戦死者の葬儀で読経を命じられたとある。町外れの木陰で昼寝をしたり、寺院を訪ねて中国人僧侶と筆談したりと休息もあった。淡々とした筆致だが、「内地より通信来たる。余等の待望のものなれば、争ふてこれを読みたり」、現地の子どもの姿に「家郷の子供の顔に似たり、あはれもよほす」などと記してあるのには、やはり胸が締め付けられる。

▼彼の地で終戦を迎え、年の暮れに復員した祖父。日誌はその後、戦陣で手帳に書き留めた日記をもとに1年かけて清書したとあった。その胸に去来する思いはいかばかりであったか。非戦平和のために今、あなたにつなぎたい。私の家にも戦争があった。

福岡支局 〒812ー0002 福岡市博多区空港前 3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話
宗務所 075(371)5181／大谷本廟 075(531)4171

宗派公式Webサイト　https://www.hongwanji.or.jp
本願寺ホームページ　https://www.hongwanji.kyoto

MIDO SAN 御堂さん 2025 5

●座談会
様々な難問を抱える現代日本に
いまこそ十七条憲法
古谷正覚　聖徳宗総本山 法隆寺管長
清老寛子　フリーアナウンサー
菅 純和　本誌編集長

●リレーエッセー
ままならない人生
私の四苦八苦
解剖学者　養老孟司

連載
『三帖和讃』を味わう　玉木興慈
「人生の爪先下り」の上手な歩き方　鎌田 實
トイレで地球を救う　白倉正子
漫画・お寺の掲示板　篠原ユキオ
イチオシ名作映画　浜村 淳
防災キッチン　坂本佳奈
慈悲のワイドショー　山﨑龍明
季節の短歌　田宮朋子
仏像百景　打本和音
川柳みどう倶楽部　夕 凪子
お悩み相談 駆け込み堂　武田正文
私と仏さま　名子 一
極楽の道しるべ　佐々木覚爾

御堂さん編集部
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-3
TEL:06-6261-6796　FAX:06-6261-6828
E-mail：midosan-koudoku@kitamido.or.jp

部数	単月購読	年間購読
20部～	110円	90円
100部～	100円	80円
500部～	90円	70円

年間購読(1部) 2,400円送料込み
(1部税込単価)
※別途、送料がかかります

法藏館
https://pub.hozokan.co.jp

仏教・イスラーム・キリスト教
―祈りと思想の共鳴
嵩 満也・佐野東生[編]　神秘主義を議論の枠組みに設定し、念仏、ズィクル、イエスの祈り等を比較考察。三大宗教に共通する教義・実践の思想をあぶり出す。　四、四〇〇円

全編解説 浄土論註
―社会環境による苦悩解決への道
菱木政晴[著]　近代教学とは異なる『浄土論註』理解によって専修念仏・往還二回向の根源的意義を明らかにし、現実社会における救いの姿を描き出す！　一三、二〇〇円

法蔵館文庫
教行信証の哲学
武内義範[著]　石田慶和・岩田文昭[解説]　親鸞の主著「教行信証」を西洋哲学の知識を駆使して初めて哲学的に解読した記念碑的論考。親鸞思想を「哲学」として知らしめた名著。一、二一〇円

浄土教の展開
石田瑞麿[著]　梯 信暁[解説]　日本における浄土教の展開を、教理的観点から分析するとともに、社会一般の情勢とも関連づけて評価した恰好の概説書。　一、六五〇円

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入ル　TEL 075-343-0458　FAX 075-371-0458
表示価格は全て税込　新刊メール配信中！　お買上16,500円(税込)以上は送料無料

重版出来
勤式作法手引書
堤 楽祐著　定価3850円(税込)
浄土真宗本願寺派の勤式作法を作法・装束・荘厳・おつとめ・読物・法要儀式・葬儀・故実・語句の九つの部門でわかりやすく解説。巻末に語句索引が追加され、さらに実用的になりました。

最新刊
東西本願寺120のちがい
鎌田宗雲著　定価3300円(税込)
主に前半は、東西本願寺の組織・寺紋・荘厳・勤式・作法など一二〇項目のちがいを紹介する。後半は、歴史的な視点も踏まえて東西本願寺のちがいに着目し、主に東騒動に関して時系列で振り返りながら解説する。

値遇のこころ
川添泰信著　定価1100円(税込)
本願寺の新報、または小冊子や、大学における掲示伝道の標語の解説などをまとめた法話集。主な内容として、お辞儀と礼拝／握手と合掌／「僭越」と「ジョーク」／蜘蛛の糸／安穏の未来／浄土真宗のお彼岸／この世にて／など。

永田文昌堂　600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入
TEL 075-371-6651　FAX 075-351-9031

探究社　https://www.tankyusha.co.jp

お寺と家庭をつなぐ法話の便り
よろこび
執筆者　前田 壽雄　浄土真宗の風景　三上 章道　斯波 徹真　近松 真定　湯上かおりの地　伝説とお念仏
1,320円
※100部以上のご注文で割引有

お彼岸

●新刊
仏恩報謝
林 智康
念仏者は無碍の一道なり　四六判並製　1,100円
著者が各誌面に掲載した六編の原稿を一冊にまとめた内容となっている。「目次」先祖がいちばん望むことは・報恩講を迎えてーまことの信心うる人ー・報恩講をお迎えしてー信心まことなる人ー・「安城御影」と『尊号真像銘文』・妙好人「能登の栃平ふじ」・加賀の千代尼・浄土真宗と妙好人

新装改訂版
癌告知のあとで
なんでもないことが、こんなにうれしい
B5版並製・248頁・1540円
鈴木 章子
初版発刊から四十年余り経た令和の時代にあの感動を再び…。
「ガンを生きる四十六歳」と題して始まる本書は、当時四十六歳の真宗大谷派寺院の坊守であった著者のガンとの闘病記でもあり、詩集でもある。
ガンと告知され、その衝撃を乗り越えて病気と闘う著者が病床より書き綴った心の軌跡とともに自分自身の病状を冷静に観察し、その思いを詩と短文で客観的に表現した感動深き書。
母から子に、そしてご縁ある方々に最後の贈りものとして手渡したい…との著者の思いが行間にあふれている。

〒520-0027　大津市錦織2丁目9-30-101
TEL 077 (599) 4201　FAX 077 (599) 4220
【e-mail】post@tankyusha.co.jp　【表示価格は税込】